



鹿兒島縣

其能

傳ついでてある大戦中、
 巡豐田原坂より城の圓
 へてめりくをあらわ
 城方へ必死に殺

桐野利秋

村田新八

西鄉隆盛

篠原國幹

吉松佐君

田原坂

三好女將君

西鄉小平

熊水城

びく死傷も多きうり今もあつ
 も八百人の兵を率ひて牛久保を戦
 山ありいやく我ひのづから又あり
 とひ降参り吉次坂の戦ひを尋
 る村因勢ハ八海日をもつ多
 ハ戦没せり吉次田原祇あての城
 玄刀を授き黄金とも利ありて
 鶴田村を焼き師軍のため白旗
 江内口の城勢ハ死んで盡きり
 西谷原空の赤多中卒ハ討死
 あふ安ふ中卒を名へ吉松
 取佐右ハ力を助申ゆつひ
 中卒をり城勢を正す
 を切くたてあ討死せき
 田原吉次の戦ハ大砲小銃を
 安軍を捕り死ハ
 多き



明治十年三月五日 齊屈
同 三月 出版

編輯 政府學三大區 六小區
新市南通二百里書地
出版 金井德兵士